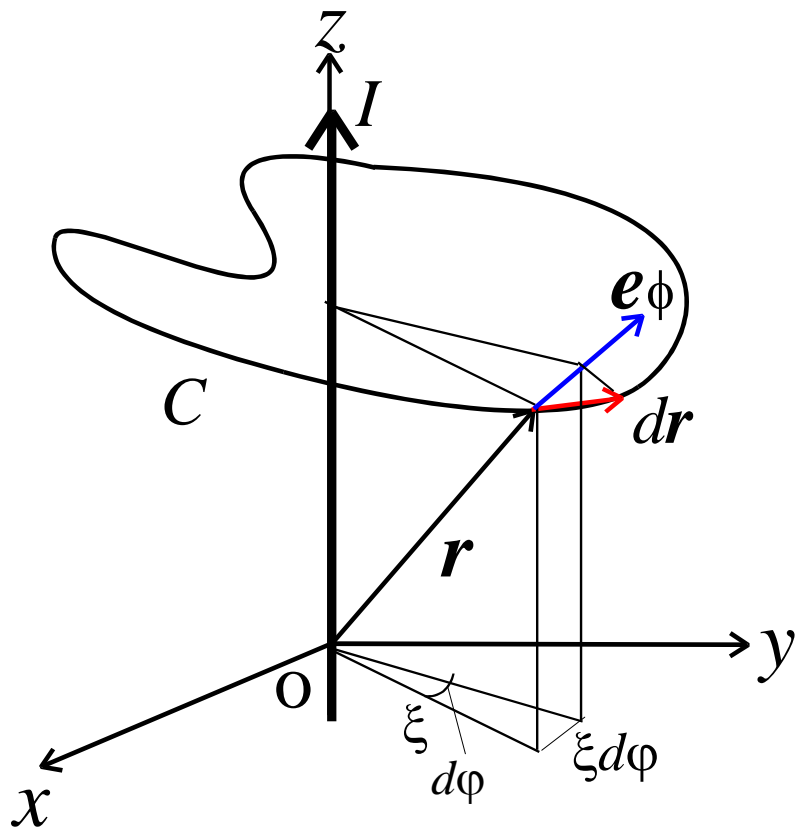


無限に長い直線電流の場合



電流が作る磁場は、

$$\mathbf{B}(\mathbf{r}) = \frac{\mu_0}{2\pi} \frac{I}{\xi} \mathbf{e}_\varphi$$

よって、経路Cにおける循環は、

$$\oint_C \mathbf{B}(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{r} = \mu_0 I \oint_C \frac{1}{2\pi\xi} \mathbf{e}_\varphi \cdot d\mathbf{r}$$

$\mathbf{e}_\varphi \cdot d\mathbf{r} = \xi d\varphi$ と表せるので

$$\mu_0 I \oint_C \frac{1}{2\pi\xi} \xi d\varphi = \mu_0 I \oint_C \frac{d\varphi}{2\pi}$$

アンペールの法則

複数の電流回路がある場合

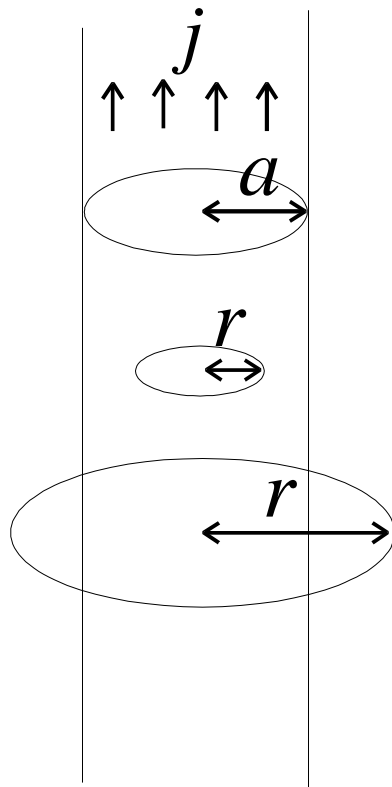
$$\oint_C \mathbf{B}(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{r} = \mu_0 \sum_{\text{経路 } C \text{ が絡む}} I_i$$

電流が電流密度 $\mathbf{j}(\mathbf{r})$ で分布している場合

$$\oint_C \mathbf{B}(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{r} = \mu_0 \int_S \mathbf{j}(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{S}$$

アンペールの法則の応用例

半径 a の無限に長い円柱状導体内を一様な電流密度 j で流れる電流が作る磁場

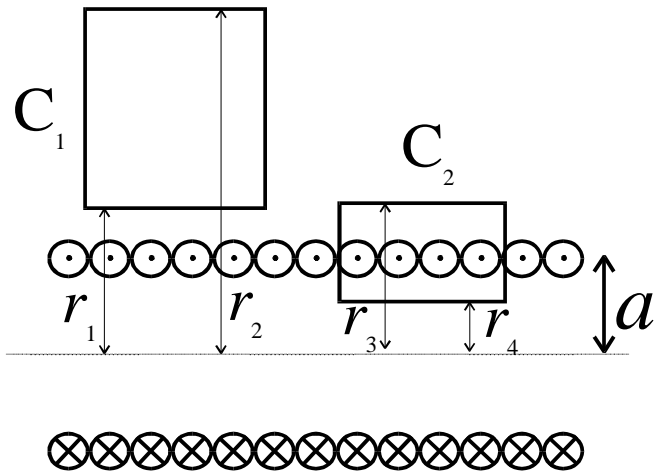


i) $0 \leq r \leq a$ の場合

ii) $r > a$ の場合

アンペールの法則の応用例

1 mあたりの巻き数が n である半径の無限に長いソレノイドコイルに、電流 I を流したときにできる磁場



第3章レポート問題2

ソレノイドコイルの中心の磁場の大きさを、
ビオ・サバールの法則を用いて計算せよ
(第3章レポート問題1参照)。アンペールの
法則を用いて得られた結果と一致した
か？